

◆人権教育 同和問題

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メディア	時間 (分)	対象	内 容
人権教育	同和問題	634	セピア色の風景	D	55	中 青 一 般	交通事故に遭った父の「あの事…子ども達に…」とつぶやいたことを、息子の淳が母に尋ねるが返事がない。淳は父の本棚から見つけたセピア色の一枚の写真にある寺を捜しに京都へ旅立ち、父に妹がいることを初めて知る。
人権教育	同和問題	689	バースディレストラン	V	30	中 青 教 P 一 般	2歳の時に両親が離婚して以来、パン屋を経営する父親と祖母と暮らす中3の主人公が、父親の死によって、初めて自分の両親の離婚の原因が部落差別にあったことを知り、部落差別と正面から向き合い乗り越えていこうと決心するまでの姿を描いている。
人権教育	同和問題	931	ヒューマン博士と考えるよ ～差別から人権の確立へ～ 夢と希望に満ちた未来のために…	V	28	中 青 教 P 一 般	本作品は、日本の伝統的な芸能や文化が、差別された人びとの生産や労働に支えられてきたことなど、差別された人びとの歴史と暮らしに焦点を当てながら、私たちの歴史の中でつくられた偏見や差別の解消につなげて頂くことを目的に制作された作品。
人権教育	同和問題	954	青春セクションのヒューマン・ステージ	V 字幕	31	青 教 一 般	演劇部員の女子高校生。家に帰ると差別を乗り越えて結婚した姉が義父の差別発言が原因で戻ってきていました。そのことがきっかけで、同和問題と様々な人権問題の根っこのところでは同じだと学ぶのです。
人権教育	同和問題	955	「部落の心を伝えたい」Vol.8 ぬくもりを感じて 刺激的ナイスガイ中倉茂樹	V	30	青 教 一 般	警備会社で働きながら、年間70回に及ぶ講演活動を続けている中倉茂樹さん(29歳)は、「部落差別をなくすことに人生を賭けたい」と力強く語る。中倉さんには結婚を約束した女性がいる。しかし彼女の家族は部落出身であることを理由に結婚に反対しており、2人の悩みは深く重い。現在進行形の”結婚差別”をカメラは追う。
人権教育	同和問題	956	「部落の心を伝えたい」Vol.9 私からはじまる人権 子どもに伝える 柴原浩嗣・宮 前千雅子	V	27	青 教 一 般	大阪府人権協会の人権啓発部長の柴原浩嗣さんと、大学で人権問題の講座を担当する宮前千雅子さんは1993年に結婚。2人の人権問題に深く関わる生き方を伝える。柴原さんが行う参加型スタイルの研修や宮前さんの大学での「人権問題論」講義の内容、そして子を持つ父として母としての取組みの様子を伝える。仕事の上で、生活の場で、2人の共通のテーマはまさに「私からはじまる人権」の実践であり、「そしてあなたは？」の問いかけである。
人権教育	同和問題	957	「部落の心を伝えたい」Vol.10 えびす舞に思いをのせて でこまわしを復活 辻本一英	V	28	青 教 一 般	辻本一英さん(55歳)は被差別民の生活文化や伝統芸能の調査研究と掘起こしの取組をライフワークとしている。この作品では辻本さんが直面した被差別体験や部落のマイナスイメージをそのまま呑み込んだ高校時代を紹介し、やがて同和教育と出会った辻本さんの部落解放運動の取組みを伝える。かつて被差別民が担い、高度経済成長期を境にほとんど姿を消してしまった正月の祝福芸と大道芸を復活させた辻本さんは、講演会で「差別の不合理」と「被差別民のアイデンティティ」をその復活の経緯を語りながら解説する。
人権教育	同和問題	975	差別意識の解消に向けて 第1巻:人権のまちづくり	V	29	青 P 一 般	宅地建物取引に関して「同和地区であるかどうか」「同和地区と同じ校区にあるかどうか」という情報が確認されるなどの差別行為があとを絶ちません。差別意識及び宅地建物取引における土地差別をなくすために、第1巻は一般向け、第2巻は企業向け、第3巻は行政向けとして制作されたもののうちの、第1巻です。(企画は大阪人権問題映像啓発推進協議会:大阪府・大阪府内市町村・大阪府教育委員会他)

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メディア	時間 (分)	対象	内 容
人権教育	同和問題	976	大地の母きくゑ	D	32	中高青教P一般	差別を乗り越え、人々の温かい心に支えられながら生き抜いてきたきくゑ。生活苦から考え出されたうどん作りが、思わぬところで地域社会で役立つこととなり、80歳すぎた今でも、きくゑの活動はとどまることを知りません。大正に生まれ、差別と闘い、昭和・平成と生きてきた一人の女性の心温まる感動のドキュメンタリードラマです。
人権教育	同和問題	977	部落の歴史 (中世～江戸時代) ー差別の源流を探るー	V・D 字幕	27	青教P一般	小、中学校の教科書から、「土農工商えた非人」や「部落は、江戸時代に作られた」という記載が、ほとんど消えてしまいました(2001・2005年検定本)。本格的な歴史研究が進むにつれ、そうした考えは誤りであり、修正すべきという理解が、ここ20年、歴史研究者の間に定着してきたためです。この大きな部落史観の転換を受け、このたび作られた作品です。
人権教育	同和問題	978	部落の歴史(明治～現代) ー近代化が存続させた差別ー	V・D 字幕	26	青教P一般	小、中学校の教科書から、「土農工商えた非人」や「部落は、江戸時代に作られた」という記載が、ほとんど消えてしまいました(2001・2005年検定本)。本格的な歴史研究が進むにつれ、そうした考えは誤りであり、修正すべきという理解が、ここ20年、歴史研究者の間に定着してきたためです。この大きな部落史観の転換を受け、このたび作られた作品です。
人権教育	同和問題	979	紡ぎだす未来 ー共に生きるー	V・D 字幕	35	高青教P一般	住宅販売会社で働く佐藤晃は、ある日、父親から祖父母が部落出身だったことを告げられる。部落に行ったこともない、部落問題についてほとんど知識もない自分が「部落出身者」……。自分の知らないところで調べられ、結婚や就職のとき、いつ、どこで、誰に差別されるかもしれない。とまどう晃は初めて差別される不安を感じ、身近にいた「被差別当事者」の感じるプレッシャーに想いを馳せる。部落出身であることを隠してきた祖父母。本名を名乗りたくても日本社会に同化することを強いられている在日の知人。自分が部落出身者として差別される不安はある。けれど、自分を否定するのではなく、偏見や差別と向き合い、共に生きる社会を紡ぎだせば……。これまでの自分を振り返った晃は、在日の知人にこれからは本名で呼ばせてほしいと申し出ること、自ら一歩踏み出すのでした。
人権教育	同和問題	1024	「部落の心を伝えたい」 ビデオシリーズ 第11巻 あすなろを生きるー野上早苗ー	D	26	一般	40年以上も続く福岡の「あすなろ解放学級」。今も地区内外から毎週大勢の人たちが集い、学び合い、話し合い、笑い、涙する。代表の野上早苗さん(58)が語る、一人からはじまる解放運動とは。 <H21年>
人権教育	同和問題	1025	同和問題と人権 ーあなたはどうか考えますかー	D	28	一般	会社でセクハラなどの人権問題を担当する大月友一は、両親の体験を聞き、部落差別、同和問題について知識を深めていく…。同和問題について考えるアニメーション作品です。 <H20年>
人権教育	同和問題	1061	部落の心を伝えたい 第18巻 無知を許さず ー連続大量差別はがき事件 ー 浦本誉至史	D 字幕	30	高青P一般	浦本誉至史さん(47)が体験した差別事件の真相とは？また、研究者として、江戸の被差別民衆から学んだものとは？「無知」をキーワードにあらゆる人権問題の本質に迫る。
人権教育	同和問題	1062	部落の心を伝えたい 第19巻 差別を許さない自分づくり ー寝た子を起こして30年ー 長谷川サナエ	D 字幕	26	高青P一般	「寝た子を起こすな」の風潮が根強く残る新潟で、しかも女性という立場で、30年に亘り解放運動をリードしてきた長谷川サナエさん(66)その曲げない生き方を見つめる。

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メディア	時間 (分)	対象	内 容
人権教育	同和問題	1063	部落の心を伝えたい 第20巻 52歳の立場宣言 ～なかまがいれば人は変わる～ 岡潤爾	D 字幕	26	高青P一般	岡潤爾さん(52)は、牛馬の皮剥ぎ職人として生きてきた。今、熊本で部落解放運動のリーダーを務める。6年前の差別事件を契機に自己を解放、「本音で語り、共感し、本気で動く」日々である。
人権教育	同和問題	1074	私の中の差別意識 部落差別問題から考える	D 字幕	24	中高青教P一般	部落問題を通して、なぜ差別は残るのか？その原因から、解決への道をドキュメンタリーを通して探ってゆきます。自分のなかにある差別意識を問うきっかけとなる作品です。
人権教育	同和問題	1085	あなたに伝えたいこと	D 字幕 副音声	36	高青教P一般	この作品のテーマは「インターネット時代における同和問題」です。同和問題の解決を図るため、30年以上にわたって地域改善対策が行われてきました。その結果、生活環境などハードの面の改善は進みましたが、結婚差別や身元調査など、意識の面では依然として課題が残されています。また、時代の経過とともに、同和問題についての正しい理解を得る機会が少なくなっています。そんな中、この作品は同和問題を正面から取り上げ、描きます。 この物語の主人公は、ごく普通の若い女性です。物語が進む中で、彼女は、自分の祖母や母が同和問題でつらい思いをしてきたことを知ります。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などとの関わりを通して、ネット上の情報だけではなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知り合うことが、同和問題や全ての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝えます。
人権教育	同和問題	1091	太郎のががみ	D	56	小中高青教P一般	「差別されるってどんなに辛いことか」また「知らず知らずの内に人の心を傷つけてはいないだろうか」・・・。 部落差別と障害者に対する差別の問題を子供たちと一緒に考えながら学習していく、人権啓発ドラマである。
人権教育	同和問題	1098	そんなの気にしない	D	17	中高青教P一般	この作品は、二人の友だち同士が主人公です。タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉です。告白したほうは、相手にもっと知って欲しかった。告白されたほうは相手が、そのままでの相手でも何も変わらないことを伝えたかった。しかし、その一言がきっかけで二人はすれ違っていきます。プラスのイメージを持っていることに、人は「気にしない」とは言いません。「気にしない」という言葉の底には、そのことをマイナスに見る意識があるのかもしれない。私たちが普段なにげなく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれない。そして、壁を乗り越えるのもまた、相手を信じる力だということを作品で伝えたいと思います。
人権教育	同和問題	1100	第5巻 渋染一揆を闘いぬいた人々	D	18	小中高教	渋染一揆が起こった背景や実際の一揆の経緯を描き、人権を守るために力を尽くした人々の生き方、それを支えた人々の姿を伝えることで、人権尊重の意義を考えさせる教材です。
人権教育	同和問題	1101	第6巻 日本国憲法と部落差別	D	17	小中高教	日本国憲法は、アメリカに押しつけられたものではなく、日本人が自ら草稿を手に入れ、作り上げたものでした。そして、日本国憲法こそが、人権を守る宣言そのもののなのです。憲法制定の当時の状況を解説しながら、憲法と人権を考える教材です。
人権教育	同和問題	1116	お互いを活かし合うための人権シリーズ③ 今そこにいる人と、しっかり出会うー同和問題ー	D 字幕 副音声	24	中高青教P一般	同和問題はわが国固有の人権問題であり、日本の長い歴史の発展の中で形作られた身分差別によって、形成されたものです。生まれた場所や住んでいる場所だけで偏見をもたれ、差別されるという理不尽な差別といえます。いま、現代社会でもさまざまな差別の問題が起こっています。本作では、同和問題について理解を深める同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品となるように構成されています。ドラマ形式で描かれており、登場人物の気持ちに寄り添って視聴することができます。

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メディア	時間 (分)	対象	内 容
人権 教育	同和 問題	1128	大切なひと	D 字幕 副音声	34 分	中 高 青 教 P 一般	<p>ネット社会における部落差別と人権 ～誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざして～</p> <p>現代社会におけるインターネットは利便性が高く、SNSや動画投稿サイトを通して自由に意思表示することができるのが特徴です。一方で、インターネット上では他者からの評価が自身の評価と誤認し、部落差別・外国人差別といった偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。ときに投稿者自身も第三者から誹謗中傷を受けることがあり、現在深刻な人権問題となっています。</p> <p>インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として制作されました。</p>
人権 教育	同和 問題	1130	破戒	D 副音声	119 分	中 高 青 教 P 一般	<p>島崎藤村の名作文学が60年ぶりに映画化された作品。</p> <p>主人公は自分が被差別部落出身ということを隠して、地元を離れ、小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師であったが、出自を隠していることに悩み、差別の現状を目の当たりにして心を乱しつつも下宿先の士族出身の女性との恋に心を焦がしていた。同僚教師の支えはあったが、学校では主人公の出自について疑念も抱かれ始める。苦しみのなか、主人公は被差別部落出身の思想家に傾倒していく。</p>